

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : AQUAFUZE Magenta / AQ-MA1000
供給者の会社名称, 住所及び電話番号
供給者の会社名称 : 武藤工業株式会社
住所 : 長野県諏訪郡下諏訪町 3128
担当部門 : 品質センター
電話番号 : 0266-28-1883
FAX 番号 : 0266-28-7760
推奨用途 : 武藤工業株式会社製インクジェットプリンター用

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

本製品は GHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム) により分類されていません。

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び濃度又は濃度範囲

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	官報公示 整理番号
水	7732-18-5	50 - 100	-
プロピレングリコール	57-55-6	10 - 30	2-234
マゼンタ顔料	-	1 - 5	-

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にすること。必要なら医師に相談すること。

皮膚に付着した場合 : 水と石鹸で洗うこと。炎症の兆候がある場合は医師の診断を受けること。

眼に入った場合 : 直ちに、室温、低圧、清浄な水で 15 分以上、洗い流すこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に取り外せる場合は外す。
眼の刺激が続く時には医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 水で口の中をうがいし、速やかに医師の診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報なし。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 特に無し。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : CO2、消化粉末剤あるいは水放射。
火が大きい場合は水放射もしくは耐アルコール性泡を使用
現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
- 使ってはならない消火剤 : 高圧水で漏出物を散乱させないこと。
- 火災時の特有の危険有害性 : 火災の際にヨウ素が分離する可能性がある。
火災条件下により、ほかの有毒成分が微量に発生する可能性あり。
- 特有の消火方法 : 消火作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしないようにしてください。
周辺火災の場合、可能ならば速やかに液体を安定な場所に移す。
移動不可能な場合は液体および周囲に撒水し冷却してください。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 必要に応じて適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用してください。
- その他の情報 : 危険な容器は水放射で冷却させる。
汚染された消火水は分けて回収、下水に流してはならない。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 眼に液体が入らないように気をつける。手についた液体は水と石鹼でよく洗い流す。
必要に応じて適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用してください。
十分に換気がされているか確認すること。
- 環境に対する注意事項 : 下水や河川に流さないこと。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : スポンジなどを用いて液体を拭き取り、それを密閉容器に入れ、適切な方法で廃棄すること。作業の際には換気をする事。
大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。
可能な場合は漏出物をせき止める。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止しなければならない。バーミキュライト、砂、土などの不燃性物質を用いて製品を容器に吸収し、後で廃棄する。
製品回収後、その付近を水で洗い流す。水路、下水道、地下又は密閉された場所への流入を防ぐ。
少量の漏出：吸収材(例：布、フリース)で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。取り扱った後、手を洗うこと。
- 注意事項 : 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

火災および爆発防止 : 成分、プロダクトは乾燥した状態では火災を起こす場合がある。
保管 : 直射日光を避け、冷暗所に保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	安衛法 管理濃度	日本産業衛生学会勧告値	ACGIH TLV
プロピレングリコール	設定なし	TWA:50 ppm,213mg/m3	-

設備対策 : シャワー、洗眼設備、および換気システム

保護具

呼吸用保護具 : 適宜、呼吸保護具を使用して下さい。
手の保護具 : 作業時は保護手袋を着用して下さい。
眼の保護具 : 作業時は保護眼鏡またはゴーグルを着用して下さい。
皮膚及び身体の保護具 : 作業時は保護手袋や保護服を着用して下さい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 赤
臭い : 特徴的
融点/凝固点 : 情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 情報なし
可燃性
固体、気体 : 非該当
液体 : 可燃物ではない
爆発下限界及び爆発上限界 : 情報なし
/可燃限界
引火点 : 情報なし
自然発火点 : 適応外
分解温度 : 情報なし
pH : 情報なし
動粘性率
粘度 : 情報なし
溶解度
水溶性 : 可溶
n-オクタノール／水分配係数 : 非該当
蒸気圧 : 情報なし
密度及び/又は相対密度
比重 : 情報なし
相対ガス密度 : 情報なし
粒子特性 : 非該当
有機溶剤 : 14.4%

10. 安定性及び反応性

反応性	： 情報なし。
化学的安定性	： 一般的な貯蔵・取り扱いにおいては安定です。
危険有害反応可能性	： 常温では反応性はありません。
避けるべき条件	： 提供された情報に基づき知見なし。
混触危険物質	： 提供された情報に基づき知見なし。
危険有害な分解生成物	： 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	： 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。
動物実験における特殊な症状	：
皮膚腐食性/刺激性	： 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	： 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
皮膚感作性	： 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。
呼吸器感作性	： 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。
生殖細胞変異原性	： 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。
発がん性	： 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。
生殖毒性	： 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。
誤えん有害性	： 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たしません。

その他の情報（実験的毒性について）

AMES – 陰性

その他有害についての情報

情報なし

12. 環境影響情報

水生生物に対する毒性	： 情報なし
生態毒性	： 情報なし
残留性・分解性	： 情報なし
生体蓄積性	： 情報なし
土壌中の移動性	： 情報なし
オゾン層への影響	： 情報なし
PBT（残留性、生物濃縮性、毒性物質）及び vPvB（高残留性、高生物濃縮性物質）アセスメント	
PBT（残留性、生物濃縮性、毒性物質）	： 情報なし
vPvB（高残留性、高生物濃縮性物質）	： 情報なし
他の副作用	： 情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

該当しない

航空輸送(IATA-DGR)

該当しない

海上輸送(IMDG-Code)

該当しない

環境危険（海洋汚染物質）

該当しない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

該当しない

輸送/その他の説明

上記規定によれば危険性はない。

国内規制がある場合の規制情報

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

該当しない

名称等を表示すべき危険物及び有害物

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

化学物質排出把握管理促進法

該当しない

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法

危険物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

該当しない

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

該当しない

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 供給された状態の製品には非該当。

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

16. その他の情報

この安全データシート(以下「SDS」という)で提供する情報(以下「本情報」という)は、本書作成時点において、弊社の最善の知識、情報、及び信念のもとで正確であると判断したものです。本情報は、製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄及び漏洩に関するガイダンスとしてのみ作成されており、いかなる保証又は品質規格をなすものではありません。本情報は、SDSの頭書に示されている特定された製品に関するものであり、当該本製品が他の製品と組み合わせて、又はプロセス中で使用される場合、本文中に言及がない限り、有効にはならない可能性があります。本製品の使用者各位においては、本情報及び推奨事項を適用する場合に、使用者各位の最終製品における本製品の適切な評価を含めて、使用者各位の意図する方法での特定の状況における本製品の取扱い、使用、処理、及び保管について、確認願います。